

【2026 年度 3 月研修案内】

1. 研修会名称：アルコール依存症者のリカバリーを支援するソーシャルワーク

2. 研修主旨

3月の定例研修会は、宮城県精神保健福祉士協会と合同で『アルコール依存症者のリカバリーを支援するソーシャルワーク』というテーマで研修会を行います。皆さんの医療機関でもアルコール使用障害や急性膵炎、肝硬変などアルコール起因の疾患で受診する患者は少なくないと思います。

アルコール依存症は「見ようとしないと見えない」病気と言われます。これは、患者が飲酒問題を隠し、周囲も「まだ大丈夫」と見過ごしてしまう、あるいは「ただの酒癖」と捉えられてしまう、本当のニーズが見えにくい病気であるためです。患者の「生活」や「文化」に密接に関わる私たちだからこそ、どのように関わり、健康な生活を再構築していけるのかを学んでいく必要があると考えます。

この度は、まず、一般医療機関のソーシャルワーカーが頻回搬送事例の中で出会い、その後の支援を診療所のソーシャルワーカーと共に何とか対応した事例をまずは取り上げます。次に、アルコール依存症患者及び家族への支援経験が豊富にあるお二人の精神保健福祉士の方に事例について一緒に考えていただき、異なる視点からの示唆をいただきます。そして最後には、依存症当事者の方に登場いただき、回復者の語りに耳を傾ける構成としました。

多様な現場で活動するソーシャルワーカー、そして回復者などが一丸となって「見ようとする」ことで、「見えてきたこと」、「まだまだ見えないこと」などを率直に語り合うひとときとなれば幸いです。

今回は、二つの職能団体が合同して開催します。また、日本医療ソーシャルワーカー協会社会貢献事業部依存症リカバリーソーシャルワークチームの協力を得て「アルコール体質判定体験」（先着順）のブースも会場内に登場します。たくさんのご参加、お待ちしております。

3. 日時：令和8年3月14日（土）14時～16時30分

4. 対象：宮城県医療ソーシャルワーカー協会会員、宮城県精神保健福祉士協会会員、ソーシャルワークを学ぶ学生、日本医療ソーシャルワーカー協会主催「一般医療機関における依存症リカバリーソーシャルワーク研修過去の受講者」

5. 開催方法：対面研修

6. 場所：仙台市立病院3階第2会議室

7. 定員：40名

8. 受講費：無料

9. 申し込み方法：下記QRコードよりお申し込みください。



10. 問い合わせ先：仙台市立病院退院支援室 担当 澤井彰 Tel.022-308-7111（代表）

11. プログラム：

14 時開始

- ・事例で考える（推論形式の事例報告）

講師 澤井彰（宮城県医療ソーシャルワーカー協会 仙台市立病院）

佐藤卓（宮城県医療ソーシャルワーカー協会 やまと在宅診療所あゆみ仙台）

演習助言 野村裕美（日本医療ソーシャルワーカー協会 同志社大学）

- ・事例を深める（専門医療機関の立場からどう受け止めたか/地域でアルコール依存症者をどう支えるか）

鈴木俊博（宮城県精神保健福祉士協会 東北会病院）

齊藤健輔（宮城県精神保健福祉士協会 相談支援事業所そわか）

- ・回復者の語りに耳を傾ける

上堂蘭順代（日本医療ソーシャルワーカー協会社会貢献事業部 ジェイ・ワークス株式会社）

16 時 30 分終了

追記

13 時 30 分から、アルコール体質判定体験ブースを開設します。お気軽にお立ち寄りください。ブースは、日本医療ソーシャルワーカー協会の野村裕美・上堂蘭順代が担当します。

12. 主催

宮城県医療ソーシャルワーカー協会・宮城県精神保健福祉士協会による合同開催

13. 協力

日本医療ソーシャルワーカー協会社会貢献事業部依存症リカバリーソーシャルワークチーム